

## 教職大学院と教育委員会の協働による研修の単位化を活用した 専修免許状取得プログラムの開発

### 調査の概要

#### ◆課題認識

平成29年度に実施した「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」の調査研究において明らかとなった専修免許取得までの単位の積み上げに関する課題に対して、教員育成指標と連動した研修講座を徳島県教育委員会と大学が連携協力して企画・運営を行う仕組みを構築し、それを活用して専修免許状等を取得するプログラムの開発、実践を行う。

#### ◆調査研究の目的

県教育委員会主催の教員研修講座を教職大学院の授業として設計するための調査研究

#### ◆調査対象

先行事例研究のための聴取対象

①岡山県教育委員会と岡山大学教職大学院、②岐阜県総合教育センター、③NITS主催「小学校における外国語教育指導者養成研修」視察、④琉球大学教職大学院視察並びに沖縄県教育委員会

### 取組のポイント・成果

#### ◆取組みのポイント

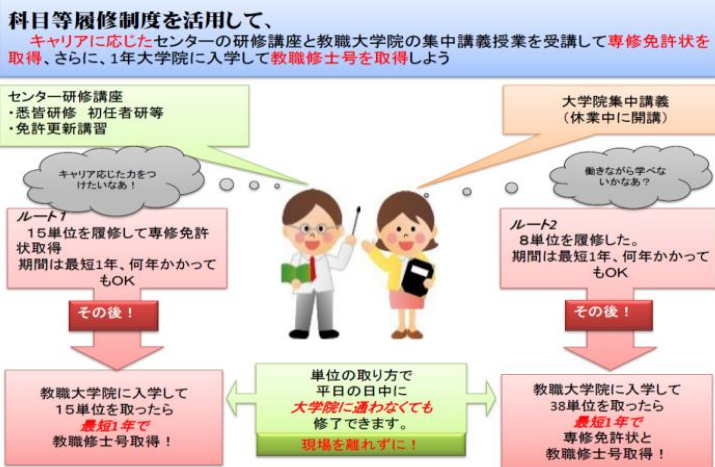
##### 専修免許状取得プログラムの検討組織

県教育委員会主催の教員研修講座を教職大学院の授業として設計するための検討委員会として「徳島県教員研修コンソーシアム」を設置した。構成メンバーは、鳴門教育大学教職大学院、徳島県教育委員会教職員課、徳島県立総合教育センターである。

#### ◆成果

##### 研修プログラムの開発

「徳島県教員研修コンソーシアム」での議論を基に、教員育成指標と連動した教員のキャリア形成研修プログラムを大学と教育委員会と協働で開発した。具体的には、県教育委員会・総合教育センターと協働で行っている「主幹教諭・指導教諭研修」を科目等履修生向け正課授業科目「ミドルリーダー課題演習(仮)」としてシラバス等を設計し、科目等履修制度により研修講座受講者が教職大学院の単位を取得するモデルを構築した。単位化された研修を教職大学院の授業として2019年度より実施する。



### 今後の課題

#### ◆履修プログラムの構築

専修免許状取得には15単位以上の履修が必要であり、次年度実施する「ミドルリーダー課題演習」だけでは、必要単位数を獲得することはできない。今回の事例を基にさらなる研修の単位化を進めるため、①免許更新講習の単位化、②履修年限の制限等について、今後も検討する必要がある。